

たきこみごはん

全国福祉保育労働組合
東海地方本部 障害協議会NEWS
2008. 5. 26
Vol. 15

石川さん、ありがとう！！



障害協議会の活動を中心になって作ってきたみなと福祉分会の石川さんから原稿が届きました。これまでもたきこみごはんにたくさんの力強く温かいメッセージを寄せてくださいました。今回は分会員として最後の原稿になります。これからも、つながっていきましょう！

労働組合の力を大いに発揮しよう

新年度にはいり、2ヶ月が経過しようとしています。

みなさんの職場はどんな様子でしょうか。

欠員のうまれたところでは、職員の補充がされていますか。利用者は増えただけで、職員はそのまま。という職場も多いのではないのでしょうか。

職員の給料、新年度になり昇給や一時金はどうなっていますか。

それらに、「労使の合意」がえられていますか。労働組合力が発揮されていますか。

自立支援法になり、経営のむずかしさが増しているのは事実ですが、一方で法人の数量も広がりました。きちんと決算・予算の説明のないまま我慢を強いられていませんか。

この間のうごきのなかでも「がんばればがんばっただけかならず成果がある。感動がありドラマがある」という教訓がうまれています。

ゆたか福祉支部では、結成後に組合員をふやすとりくみのなかでわずか1ヶ月のあいだに新たに9名を仲間にもかえました。みなと福祉分会でも、要求運動と拡大を統一して春闘期に奮闘するなかで、春季一時金の獲得と組合員の大幅な拡大をとげてきています。

「こんな組合ならはりたい」と思われるような活動を元気にとりくみ、ためらわずに「いっしょにがんばろう」とよびかけましょう。

けしてむずかしいことではありません。

分会の活動を定期的におこなう。悩みやねがいをみんなで共有する。組合で要求をまとめ実現にむずびつけていく。—それらを職場のみんなに知らせていくことです。

やらなければ職場に責任がもてない。人材確保の問題は利用者のくらしそのものの危機。このままでは福祉に未来はない。と腹をきめて働く者の立場で「やれることはやる」「やるべきことはやる」。それができるかどうかです。

人は増えず業務ばかりが増え、子育てや介護など生活に追われ、とてもこれ以上は・・・という状況が広がっています。しかし、それは私たちだけでなく多くの若者たちや介護、医療、教育、公務・・・など、どの分野の労働者たちも「構造改革」のもとでは同じです。

広く大きく手をむすび、矛盾の深まりのなかでチャンスともいえる今、せめぎあいの情勢に胸をはって元気に立ちむかっていきたいものです。

このたび、業務の都合で労働組合からはなれることになりました。役員としてはあまりに力不足でしたが、貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

福祉保育労働組合東海地本、障害協議会の今後一層の奮闘を心から期待しています。

みなと福祉分会 石川 修



4月5月でなんと 7名も組合メンバーが増えました!!

みなと福祉社会分会
河辺 恵

みなと福祉社会では、この4月5月に新しい職員が3名入り、その3名はみんな組合に仲間入り。さらにケアホームの職員さんが1名、パート職員さんも3名も仲間入り。とてもいい風が吹いています。

役員会や分会会議を定例で開き、分会ニュースも一人職員の各ケアホームの職員を含め全職員に手渡しで配ったことや、春闘では必ず要求書を提出し、団体交渉をし、勝ちとれた経過などみなさんにお知らせしてきたことが、積み重なった力となり、7名もの拡大になったのだと思います。分会会議の参加者の平均年齢もぐっと若返り、本当にフレッシュで、元気が湧いてきます。

先日の団体交渉も16名の参加があり、パワーアップした団交になりました。春闘の闘いはまだ続いていますが手ごたえを感じています。それは多くの仲間が組合に結集しているからだだと思います。

「組合入ろうよ」といろいろな人が誘い続けることが大事ですね。皆さんともに頑張りましょう。

それでは新入組合員を紹介しま〜す!!

仕事を始めて

大川 真康

正規職員として働き始めて、2ヶ月が過ぎ、僅かな間ですがいろいろなことを、経験をさせていただきました。現場の職員としては、他法人でパート職員として、働いていましたが正規職員となり、また法人も移り変わったことで、新たに、責任も感じ、また戸惑うことや、変化したこともいっぱいありました。

そういう変化のひとつに、労働組合に加入したこともあります。これまで現場の職員として利用者に持することが頭の中の大半を占めていたのですが、少しだけ労働組合の話聞き、今の立場を俯瞰してみたときに自分が労働者であるということの意識ができました。

前の職場では与えられる仕事に無理がありそうなときでも職場全員がやって当然のような空気がありました。その中で自分も疑問にも持ちませんでした。

分会会議や、団体交渉に立ち合わせていただきそんな中で自分の立場を考える場があるとすることがわかり今すごく感謝しております。

私のほっと一息



皆さん、こんにちは。みなと福祉会分会の川又です。

私の趣味は、映画鑑賞です。ジャンルなどは問わず、何も考えず映画に浸ることが大好きです。

そんな私の最近のオススメ映画は、「マリと子犬の物語」です。この映画は、年末に実家から来た家族で観に行きました。親兄弟と映画に観に行くのは、小学校以来のことで、少し恥ずかしい気持ちもありつつ映画館へ行きました。私自身、新潟県出身ということもあり、新潟中越地震が起きたときにはとてもショックを受けました。自分だけでなく、一緒に見た家族も故郷を思い出し、切ない気持ちになったことを覚えています。

あらすじとしては、新潟中越地震で壊滅的な被害を受けた山古志村を舞台にした「マリ」という犬と家族を題材にした物語です。

映画では、「マリ」と家族の深い絆や故郷が地震によって崩壊し、ショックを受けながらも一生懸命生きようとする姿が描かれており、涙が止まりませんでした。

地震の脅威はいつ来るかわからず、現在も中国の四川省での大規模な地震により、多くの方々が亡くなり、その被害に苦しんでいます。メディアで現地の情報が報道されるたびに胸が痛みます。

「もし、地震が起こった時、「大切なもの」を守ることができるのか。」改めて考えさせられる映画だと思います。他にも、故郷の大切さ、家族の絆など見所いっぱい家族で見ても楽しめる作品です。

少し堅苦しい紹介になりましたが、笑える所もあるので機会があればぜひ見てください。

旬を食べよう!

モロヘイヤのスープ

材料(4人分)と下処理

- モロヘイヤ……1/2袋 ①
ざく切りする
- だし汁……4カップ
- 生わかめ……20g
-1口大に切る
- しょうゆ……小さじ1 ②
- 塩……少量
- きゅうり……1/2本
薄切りにする
- すりゴマ……小さじ2 ③

作り方

- ①だし汁を温め、モロヘイヤを加えてひと煮し、生わかめを加え、さらにひと煮立ちさせる。
 - ②しょうゆ、塩で味をととのえ、最後にきゅうりを加えて火を止める。
 - ③器に盛り、すりごまを散らす。
- *冷やして食べてもおいしいです。

ちよだか会 カロ藤ゆより

一編の詩をあなたに

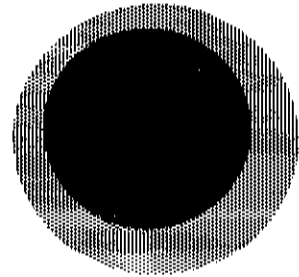
「人生」

勝つとか 負けるとか
人生はそんな卑しいものではない

競馬場へ追ひ込まれた馬のやうな
そんな人生とは 自分は無縁だ

自分は ただ生きる
勝ちも負けもしない
生きるそのことがよくてこそ
生き甲斐のある人生だ

明治三十年生まれの宮崎丈二の詩です。



< 編集後記 >

からだが痛くて、でもまだ大丈夫、と言い聞かせて毎日遅くなる仕事。でもやっぱりがまんできず、針に行ってきた。ほったらかしすぎだ、寝不足だと叱られた。ひとを大切にしているのに、自分を粗末にしていることは恥ずかしいなと感じた。食べるもの、一日の生活を、もっと大切にしよう。福祉職場で働いているからこそ、いきいきと、自分らしく、新しい明日に向かいたい。針はいいですよ。みなさんのリフレッシュ法はなんですか？

K

みなさんの投稿をお待ちしています。
ご意見、ご感想もお気軽にお寄せください！
E-mail takikomigohan06@yahoo.co.jp